

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/12/25号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

中東の原油流通トラブルで安値修正

NY原油先物相場は、1バレル=70ドル水準での保ち合いを経て、73ドル台まで切り返す展開になった。供給過剰に対する警戒感から12月12日に67.71ドルまで値下がりしていたが、安値修正の動きが優勢になった。BPが紅海の石油タンカー運航を一時的に全面停止すると発表したことで、原油輸送のリスクに対する警戒感が織り込まれた。ドル安圧力が強くなったこともポジティブ。アンゴラが石油輸出国機構（OPEC）脱退を表明したことが週後半の原油相場を下押ししたが、クリスマス休暇前とあって大きく値を崩すことはなかった。

BPは紅海で武装組織フーシ派の活動が活発化していることを受けて、紅海のタンカー運航を停止すると発表した。これによって、紅海からスエズ運河を経由して地中海の向かうルートが使用できなくなり、アフリカ南端の喜望峯沖のルールに切り替えることになる。原油輸送のコストや時間が増大することで、欧州地区の原油供給が不安定化するリスクが警戒された。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（12月15日時点）は、原油が前週比291万バレル増、ガソリンが271万バレル増、石油精製品が149万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

70ドル台前半で売買交錯、中東流通問題の買いは一巡か

クリスマス休暇から年末に向けての期間であり、持高調整が中心の展開になりやすい。中東の原油流通問題は越年する可能性が高いが、あくまでも輸送ルートの切り替えに伴う一時的な混乱状態であり、断続的に原油を押し上げるような動きには発展しないだろう。一方、アンゴラのOPEC脱退の影響は読みづらいが、直ちにアンゴラが大規模増産を行うリスクが想定されている訳ではない。先行き不透明感が上値を圧迫するが、値崩れを促すまでのインパクトは想定しづらい。

アンゴラは12月21日、OPECからの脱退を表明した。現行の協調減産における生産割当枠に不満を強めており、OPEC加盟の利益がないとしている。これによってアンゴラは自由に生産量を変えることができるが、現実的には短期間で大規模増産を行う能力はないとみられており、影響は軽微とみられる。問題は、これをきっかけに価格カルテルとしてのOPECの結束が緩む可能性があることだ。仮に協調減産体制に対する不満が表面化し、更に脱退を決めるような国が出てくると、OPEC主導の需給管理体制が崩壊し、原油相場の水準が大きく下振れするリスクが浮上する。今後の展開には注意が必要な状況になろう。

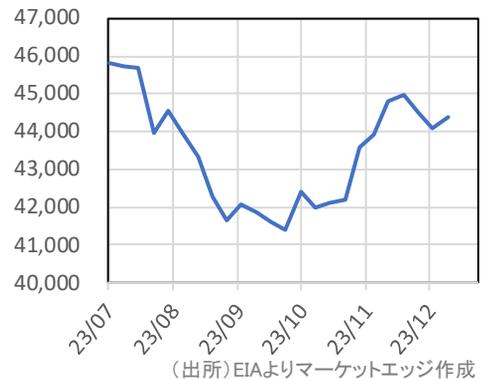
一方、中東の原油流通問題は、イスラエルとハマスの戦闘状態の行方に依存する。仮に年末に向けて停戦合意が実現すると、フーシ派の攻撃も一服し、原油輸送も正常化に向かう可能性がある。逆に石油タンカーに対する攻撃報告などがあると、地政学リスクのプレミアム加算で急伸する可能性がある。

年内の主要な経済イベントはほぼ終了しているが、ドル安傾向が維持されると、値下りリスクは限定される可能性が高い。為替市場の動向にも注目したい。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

